

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2025年 7～9月期の景況 / 2025年 10～12月期の見通

宇部市内における中小企業の業況は停滞を続いている。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景気動向等を把握するため、2025年7～9月期の実績と2025年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より2.5%の悪化となった。業種別では、建設業は▲20.0%から▲12.0%へ、製造業は▲18.8%から▲10.5%へと回復した。卸売業は▲10.0%から▲26.3%へ、小売業は▲18.8%から▲23.5%へ、サービス業は▲12.0%から▲20.7%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は34.3%、来期設備投資を実施予定の企業は31.4%であり、今期よりも2.9%減少する見込みである。

経営上の問題点については、全業種で依然として「従業員の確保難」が上位に挙げられている。さらに全業種で「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」等、金銭面での負担増加に関わる項目が上位に挙げられている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは?

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不变」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指標を合成して算出する。

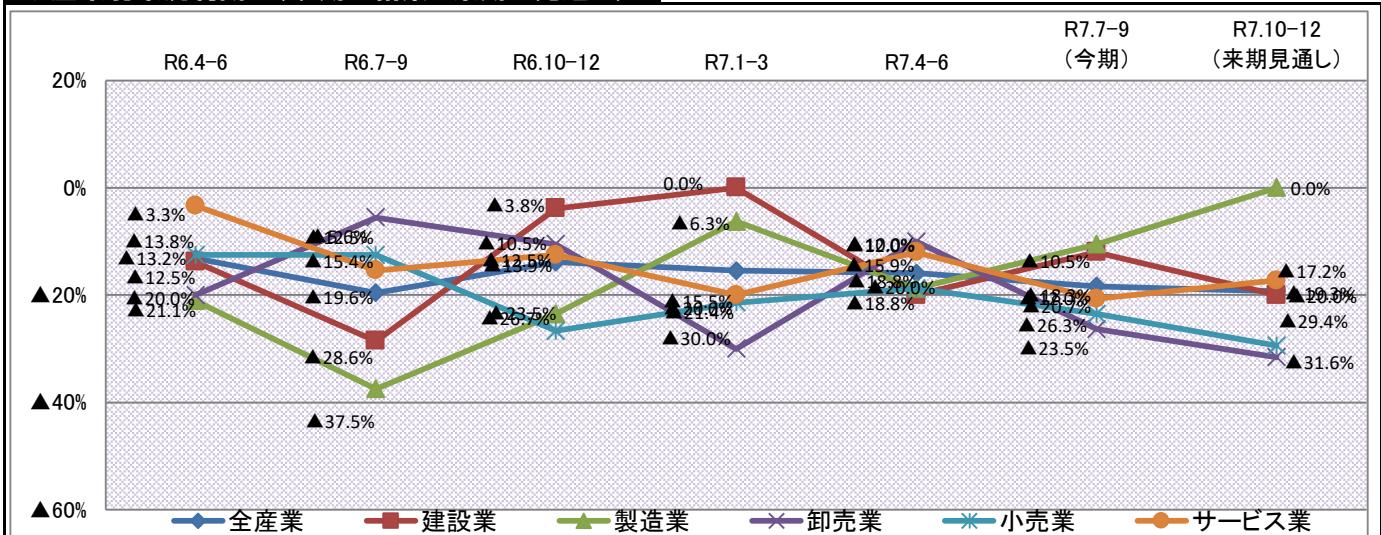
DATA

- 調査期間: 令和7年9月8日～9月19日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業126社
- 有効回答企業数: 111社 (88.1%)

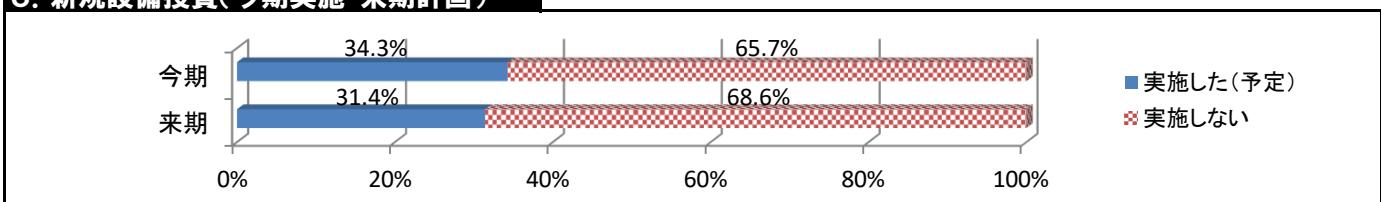
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲18.3%	▲2.5%	▲15.5%	6.8%	▲3.7%	0.1%	▲22.0%	▲2.8%	▲2.8%	▲7.5%
建設業	▲12.0%	8.0%	▲16.0%	11.6%	▲4.0%	9.8%	▲12.0%	4.7%	▲12.0%	▲5.3%
製造業	▲10.5%	8.2%	▲5.3%	30.0%	10.5%	4.6%	▲15.8%	7.7%	0.0%	▲11.8%
卸売業	▲26.3%	▲16.3%	▲26.3%	3.7%	▲5.3%	▲10.3%	▲26.3%	▲11.3%	▲5.3%	▲10.3%
小売業	▲23.5%	▲4.8%	0.0%	11.8%	▲11.8%	0.7%	▲23.5%	5.9%	▲6.7%	0.0%
サービス業	▲20.7%	▲8.7%	▲24.1%	▲16.1%	▲6.9%	▲6.9%	▲31.0%	▲15.0%	7.1%	▲13.7%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	
1位	材料価格の上昇	15.9%	原材料価格の上昇	18.5%	従業員の確保難	20.0%
2位	従業員の確保難	14.5%	従業員の確保難	13.0%	人件費の増加	17.8%
3位	人件費の増加	13.0%	人件費の増加	11.1%	仕入単価の上昇	13.3%
4位	官公需要の停滞	11.6%	原材料費・人件費以外の経費の増加	11.1%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	11.1%
					人件費以外の費用の増加	8.7%
					人件費の増加	13.5%
					人件費の増加	20.3%
					人件費の増加	16.2%
					人件費の増加	13.5%